

汚物用

PZ-550・PZ-650
PZ-540・PZ-640
PZ-550A・PZ-650A
PZ-540A・PZ-640A
水中ポンプ
取扱説明書（保証書付）

目次

はじめに	
各部の名称と付属品	2
安全上のご注意	3
準備	
ご使用になる前に	6
使用方法	
使用方法	10
保守・点検	
保守・点検	11
故障と処置	12
その他	
仕様	13
パーツのご注文は	15
保証書	16

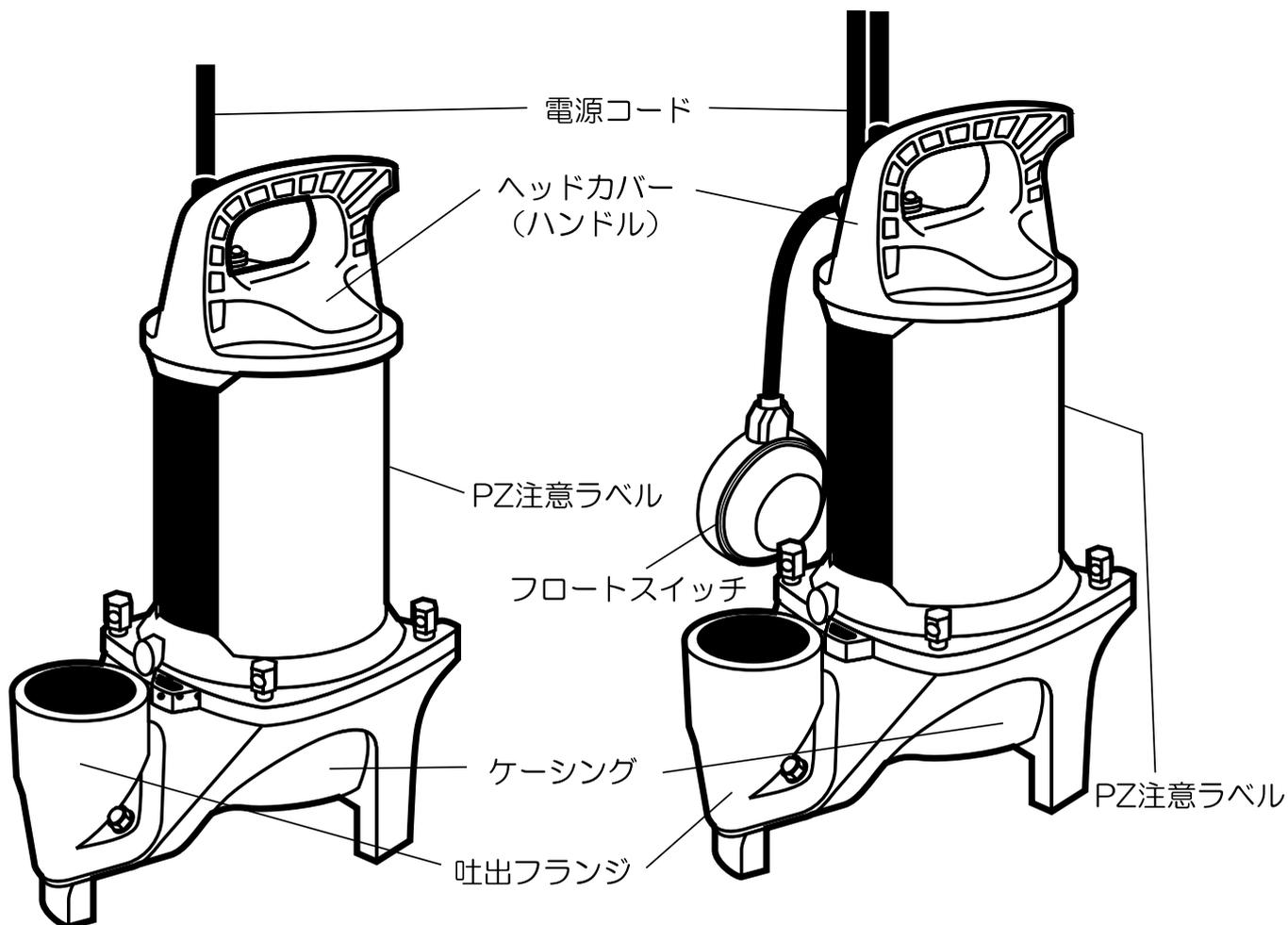
このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も保管してください。
- 取扱説明書を理解していない人は、本機の操作を行わないでください。
- 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

なお、保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けておいてください。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

各部の名称と付属品

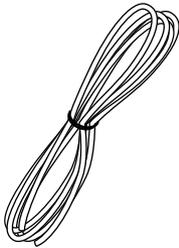


PZ-550・PZ-650
PZ-540・PZ-640

PZ-550A・PZ-650A
PZ-540A・PZ-640A
(フロートスイッチ付)

<標準付属品>

同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。

 <p>タケノコニップル 1個</p>	 <p>ホースバンド 1個</p>	 <p>ロープ 5 m 1本</p>
--	--	---

安全上のご注意

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---

警告

-  改造・分解は絶対にしない
故障や異常動作を引き起こし、ケガや事故の原因となります。
-  ぬれた手で電源プラグを触らない
感電の原因となります。
-  人や生き物が入っているところでは使用しない
事故の原因となります。
-  アース接続を確実に行う
水道管、ガス管、電話線、および避雷針などにアースを接続しないでください。
電気工事店による第3種設置工事が必要です。アース接続が不完全な場合は、感電の原因となります。
-  専用の漏電遮断器（ブレーカー）を設置する
故障や事故、漏電時に感電するおそれがあります。
-  定格15A以上の電源を単独で使用する
また、延長コードを使用する場合は、必ず芯線1.25mm²以上、長さ60m以内にする
電源コードは途中で接続したり、タコ足配線をした場合には感電や発熱・火災の原因となります。また、他の器具と併用すると、分岐電源部が異常発熱して発火することがあります。
-  配線工事は電気設備技術基準、内線規定に従い安全確実にを行う
誤った配線は、感電、火災の原因となります。
-  ポンプに幼児・子どもが触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転する
-  使用後は必ず、電源プラグを電源から抜く
ケーブルを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。感電・ショート・発火の原因となります。
-  電源プラグの刃および周囲にほこりが付いていないかどうか定期的に確認する
ほこりの付着は火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

- !** 本機は5～40℃の【清水】・【簡易汚水】・【汚水】・【簡易汚物】・【汚物】専用です
それ以外の水質、または塩水、油、溶剤、薬品、酸性やアルカリ性の液体などを使用した場合は保証対象外となります。

 - 【清水】とは、水道水、農業用水、井戸水などのうち、濁りのない水を指します。
濁りの無い水でも飲料水や食品用には使えません。
 - 【簡易汚水】とは、水道水、農業用水、井戸水などのうち、濁りのある水を指します。
細かい粒子の混じった水に使用すると、ポンプ寿命が著しく短くなります。
 - 【汚水】とは、水道水、農業用水、井戸水などのうち、(土砂を含む)濁りのある水を指します。
細かい粒子の混じった水に使用すると、ポンプ寿命が短くなります。
 - 【簡易汚物】とは、10mm以下の固形物(やわらかいもの)を含んだ、水分90%以上の水を指します
吸い込み可能な固形物サイズは機種によって異なります。
土砂・スラリーの混じった水に使用すると、ポンプ寿命が著しく短くなります。
 - 【汚物】とは、10mmを超える固形物(やわらかいもの)を含んだ、水分90%以上の水を指します。
吸い込み可能な固形物サイズは機種によって異なります。
土砂・スラリーの混じった水に使用すると、ポンプ寿命が著しく短くなります。
- ⊘** 電源コードを傷付けたり、加工や無理に曲げたり、引っ張ったりねじったり、束ねたりしない
また、重い物を載せたり挟み込ませない
火災や感電の原因になります。
- ⊘** 電源コードやプラグが傷んだ場合、また電源の差し込みがゆるい場合は使用しない
火災や感電の原因になります。
- !** 長時間使用しない場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてポンプを水中から出す
絶縁劣化による感電や漏電の原因になります。
- !** 必ず水の中に入れて使用する
空運転(水のない状態での運転)はしない
故障の原因となります。
- ⊘** 運転中の本機内部に手や指を入れない
故障やケガの原因になります。
- ⊘** 運転中は、本機に衝撃を与えない
また、運転中に移動させない
故障やケガの原因になります。
- ⊘** 電源コードやホースを持ってポンプを水中から引き上げない
電源コードを引っばるとコードの破損による感電・火災のおそれがあります。
- !** 動かない、また異常のある場合は、直ちに電源プラグを抜く
本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。そのまま使用すると感電・ショート・発火の原因となります。
- ⊘** 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードを引っばるとコードの破損による感電・火災のおそれがあります。

安全上のご注意

■ ラベルのメンテナンス

製品には、銘板が貼付されています。銘板が見えにくくなった場合や、はがれた場合には購入店に注文し、貼りかえてください。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

ご使用になる前に

確認事項

- ポンプの型式・口径・周波数・電圧などに間違いはないかを確認してください（銘板参照）。特に周波数・電圧が異なると、性能の低下・故障の原因になります。
- ホースを接続する場合は、製品付属のカップリングやホースバンドをご使用のうえ、確実に取り付けてください。
- 電源に電源コードを接続する前にアース線（緑色）は、必ず接地（アース）してください。また、万一の漏電事故を未然に防ぐために漏電遮断器を取り付けてください。（※漏電遮断器は付いておりません。電気店などで取り付け依頼をしてください。）

⚠ 注意

- 漏電遮断器をスイッチの代わりとして使用しない
故障の原因となります。

- 延長コードを使用する場合は、下記仕様のコードをご使用ください。

電源	延長コード太さ	長さ
12 A	1.25 mm ²	60 mまで

上記以外のコードを使用すると、電圧降下による故障、異常発熱などが発生します。

- スイッチは付いておりませんので、必要に応じて市販のスイッチをコンセントの先に取り付けてください。（定格125V/20A以上のスイッチを使用してください。）

⚠ 注意

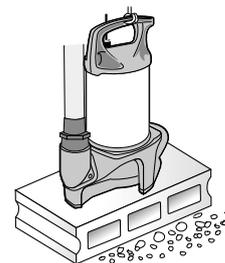
- 電源の接続部は、絶対に水にぬらさない

- ポンプの移動の際は、ハンドルを持ってください。また、設置や引き上げは、付属のロープをハンドルに結び付け、ロープを持って行ってください。

⚠ 注意

- 電源コードやホースを持って移動させない
断線やホース抜けが発生します。

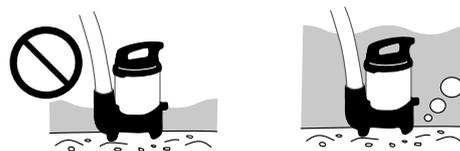
- ポンプは、水が一番集まりやすい場所に設置してください。また、設置する地盤が軟弱な場合は、ポンプが沈下しないようにポンプの底に木板やブロックなどを敷いてください。



⚠ 注意

- スラリー、土砂などの異物を多量に含んだ水を揚水しない
ポンプ寿命を縮めます

- 本製品は水中ポンプです。モーターの保護を含めて、ポンプを水没させて使用してください。



⚠ 注意

- ポンプを空気中で運転しない
故障の原因となります。

- 発電機を使用する場合は、ポンプの消費電力の3～5倍の容量をもった発電機を使用してください。起動時に定格の3倍程度の電流が流れるので、発電機容量が低いと正常に作動しない場合があります。

⚠ 注意

- 発電機の取扱説明書を充分お読みのうえ、正しく使用してください

- このポンプは24時間連続運転が可能です。

ご使用になる前に

保護装置 (サーマルプロテクター)

ポンプ内部にはモーターの保護のため、サーマルプロテクターが内蔵されています。

何らかの原因で過負荷運転となり、モーターの温度が上昇した場合、自動的に停止しモーターの保護をします。

自動停止後にモーター内の温度が下がれば、自動復帰します。

このような状態が続いたまま運転を続けると、故障の原因となるため、下記の点について点検をお願いします。点検の際は必ず電源プラグを電源から抜いてください。

- インペラに異物が入ってロックしている。
(11ページ「異物の詰まりの点検・清掃」参照)
- 電源電圧が低下している。
(本誌に記載されている以外の延長コードを使用したり容量の小さい発電機を使用しますと電源電圧が低下します。(6ページ「延長コードを使用する場合」参照))
- 比重の大きい液体、または粘度の高い液体を使用している。
- 長時間の空気中運転 (空運転)。

⚠ 注意

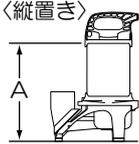


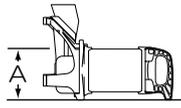
ポンプで揚水する水は90%以上の水分が必要です

スラリー、土砂などの異物を多量に含んだ水を揚水するとポンプ寿命を縮めます。

運転水位

フロートスイッチ付き機種は (フロートスイッチ可動範囲外のため) 横置き使用できません。14ページ「外形寸法図」記載の起動・停止水位をご確認ください。

	縦置き	
	PZ-550/650 550A/650A	PZ-540/640 540A/640A
A:連続運転可能最低水位	30 cm	
B:残水水位	5 cm	

	横置き	
	PZ-550/650	PZ-540/640
A:連続運転可能最低水位	16 cm	
B:残水水位	12 cm	

A:連続運転可能最低水位…連続運転に必要な水位

B:残水水位…ポンプを使用した後に残る水位

上記A:連続運転可能最低水位以下で運転された場合、保護装置 (サーマルプロテクター) が作動してポンプが停止する場合があります。

※ 横置きでの運転では、空気を吸い込みやすくなるため、配管の状況などによっては縦置き時より性能が低下する場合があります。

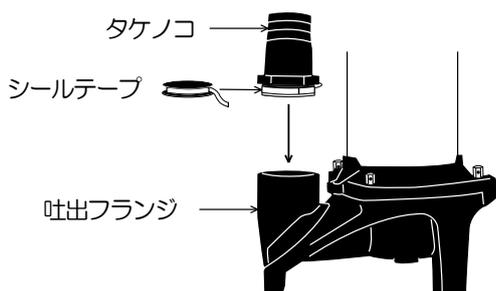
ご使用になる前に

ホースの取り付け

縦置き使用

- 1) タケノコのネジ部分にシールテープを巻き、吐出フランジにねじ込む。(シールテープは付属していません)

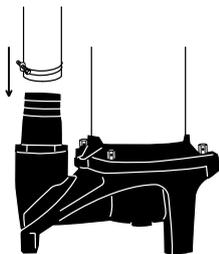
出荷時、タケノコは吐出フランジに軽くねじ込まれていますが、下記の手順で取り付けてください。



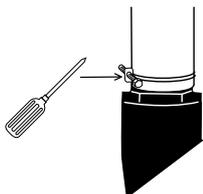
- 2) ホースにホースバンドを入れ、タケノコにさし込む。

ホースはタケノコの根元までしっかりとさし込んでください。

使用するタケノコに合うホース・ホースバンドを使用してください。



- 3) ホースバンドでホースをしっかりと固定する。
ホースバンドは、工具でしっかりと固定してください。



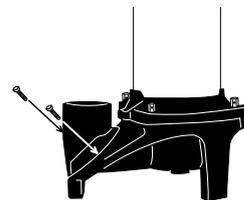
横置き使用

使用水位が低い場合、横置きにして使用すると連続運転が可能です。

(7ページ「運転水位」参照)

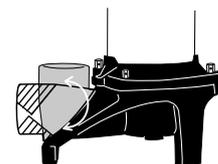
- 1) 吐出フランジの2本のボルトを外して、ポンプ本体より取り外す。

パッキンが吐出フランジとポンプ本体の間にありますので、なくさないように注意してください。



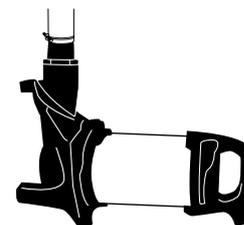
- 2) 外した吐出フランジを180度回転させ、再度ボルトで固定する。

締め付けトルク: 5N·m (50kgf·cm)



- 3) ポンプを横置きして、タケノコ・ホースを取り付ける。

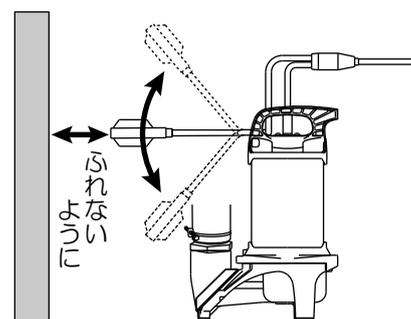
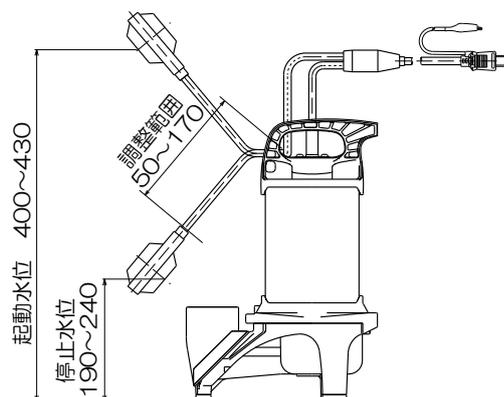
(8ページ「ホースの取り付け」参照)



ご使用になる前に

フロートスイッチ付（自動制御方式）

- PZ-650A・550A・640A・540Aは、フロートスイッチにより、ポンプの起動・停止が自動的にできる自動液面制御方式です。
- 水位の上昇により、フロートが起動水位まで上がると自動的に運転を開始し、水位が下降しフロートが停止水位まで下がると自動的に運転を停止します。
- 起動水位と停止水位は、コードバンドのボルトをゆるめることにより、調整できますがコードバンドからフロートスイッチまでのコードの長さは50～170 mmまでの範囲にしてください。これ以外ですと、フロートスイッチが正常に作動しなくなります。
- フロートスイッチは、壁側など、他の物にふれない位置に据え付けてください。
- 放水などが直接フロートにかからない位置に据え付けてください。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

使用方法

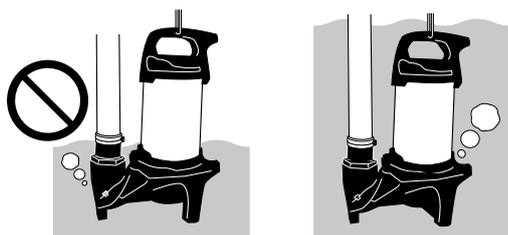
使用方法

- 1) ポンプにホースが接続されていることを確認する。また、ポンプのハンドル部にロープが結びつけてあることを確認する。

⚠ 注意

- ❌ 電源コードを持ってポンプを吊り下げない
断線の原因となります。

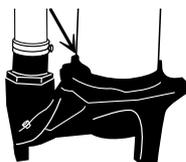
- 2) ポンプを使用する場所（水中）に設置する。



- 3) 電源に接続する。
ポンプが水を吸い始めます。

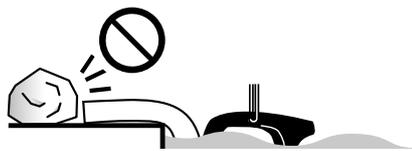
⚠ 注意

- ❗ 運転時、ケーシング（エアロック防止穴）から水が出る
異常ではありません。



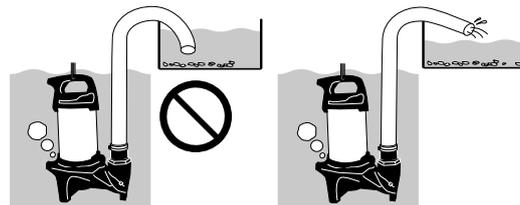
ケーシング
（エアロック防止穴）は
矢印の辺りにあります。

- ❗ 吐出ホース先端に障害物がないか確認する



吐出ホースの先端は、水中に入れない

ポンプ停止時に逆流することがあります。また、吐出ホースの先端が水面よりも低い位置にある場合、ポンプ停止時にサイフォン現象により水が流出します。ポンプ停止時にはホースを水面より高い位置に置いてください。



使用後の注意

- 使用後は必ず、電源プラグを電源から抜いて、ポンプを水中から引き上げてください。絶縁劣化による感電や漏電の原因になります。

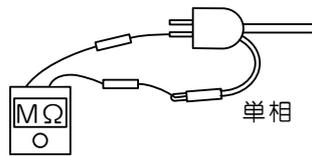
長期保管

- 長期間、保管する場合は、きれいな水の中で運転して内部洗浄を充分に行ったうえで内部を完全に乾燥させてから保管してください。

保守・点検

絶縁抵抗の測定

定期的に絶縁不良チェックを行ってください。メガテスターを用い、 $2.5M\Omega$ (アース線と電源コード間)



以上あれば問題ありません。異常がある場合は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

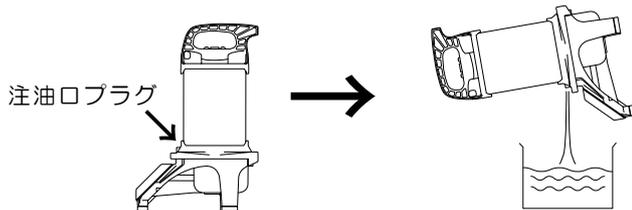
潤滑油の点検・交換

ポンプの最も重要な水密機構の軸封部は、流動パラフィンにより油封されています。

潤滑油の点検は2000時間ごと(または6ヶ月ごと)、交換は4000時間ごと(または12ヶ月ごと)に行ってください。

- 1) 注油口プラグを取り外し、本機を注油口が下側になるように傾ける。

潤滑油が抜けます。(完全に抜き取ってください。)



- 2) 抜き取った潤滑油が白濁している場合や、水が混入している場合は封軸装置(メカニカルシールなど)を交換する。

流動パラフィン量=210 mL

- 3) 注油口から潤滑油を規定量注入する。

⚠ 注意



点検・修理依頼時、パラフィンが白濁している場合や、水が混入している場合は、メカニカルシールを交換する

メカニカルシールは消耗部品です。

メカニカルシールの点検・修理は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

異物の詰まりの点検・清掃

ストレーナーやインペラにゴミが詰まると吐出量の低下やポンプ寿命に悪影響をおよぼします。

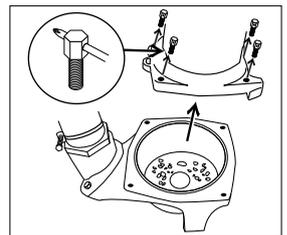
ときどき下記要領でポンプの点検を行ってください。

⚠ 注意

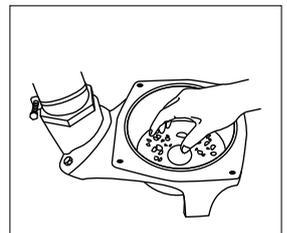


ポンプ点検時は必ずポンプの電源コードを外す

- 1) ボルトを外す。

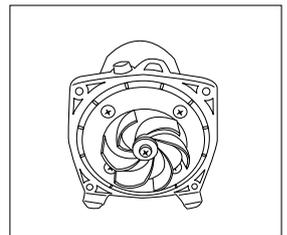


- 2) 中に入った石などを取り除く。



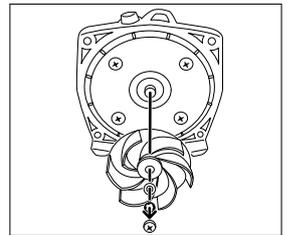
- 3) インペラ中央のプラスネジを外す。

ネジを外すと、歯付き座金と平ワッシャが外れます。



- 4) インペラを手前に引いて外す。

これ以上の分解は絶対に行わないでください



ケーシング、インペラをきれいに水洗いしてください。インペラを外したモーターのシャフト付近の汚れも水洗いしてください。組み立ての際は、各パッキンやワッシャなどを忘れずに、分解と逆の手順で組み立てを行ってください。

(ボルト・ネジの締め付けトルク: $5 N\cdot m$ $50 kgf\cdot cm$)

⚠ 注意



上記以外の分解・修理は絶対に行わない

故障と処置

修理を依頼される前にいま一度お調べください。

症状	考えられる原因	処置
起動しない 起動するがすぐに止まる	電源回路の接続不良	正しく接続する 電源回路点検
	漏電ブレーカーが作動している	漏電箇所を修理する
	インペラに異物がからんでいる	異物を除去する
	モーター焼損	「工進修理受付窓口」へご相談ください
	フロートスイッチが引っ掛かっている (フロートスイッチ付のみ)	ポンプの設置場所を変える
	フロートスイッチが割れている (フロートスイッチ付のみ)	「工進修理受付窓口」へご相談ください
運転中停止状態	電圧低下	定格電圧に昇圧する
	サーマルプロテクターが作動している	インペラに異物がかんでいる場合、異物を除去する 液温が高い場合、液温を下げる 液体の粘度が高い場合、粘度を下げる
揚水しない 性能低下	電圧低下	定格電圧に昇圧する
	吐出揚程が高い	揚程を下げる
	吸入・吐出口が詰まっている	吸入・吐出口を洗浄する
	インペラ摩耗	インペラの交換
	ポンプ内に異物が詰まっている	ポンプ内を洗浄する
	フロートスイッチが引っ掛かっている (フロートスイッチ付のみ)	ポンプの設置場所を変える
	フロートスイッチが割れている (フロートスイッチ付のみ)	「工進修理受付窓口」へご相談ください
停止しない (フロートスイッチ付)	フロートスイッチが引っ掛かっている	ポンプの設置場所を変える



注意

ご自分で保守・点検以外の分解・修理は絶対にしないでください。

修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

仕様

主な仕様

機種		PZ-540	PZ-640	PZ-550	PZ-650
ポンプ	接続口径	40 mm (Rp 1 1/2")		50 mm (Rp 2")	
	全揚程	9 m	10 m	9 m	10 m
	最大吐出量	210 L/min		305 L/min	290 L/min
モーター	電圧	AC 100 V			
	周波数	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
	出力	400 W			
	定格電流	6.8 A	7.2 A	7.5 A	
	消費電力	640 W	680 W	699 W	
	回転数	2600 rpm (50 Hz) / 3200 rpm (60 Hz)			
	電源コード	VCT 1.25 mm ² × 6 m			
	型式	コンデンサ誘導モーター			
製品重量	10.2 kg				
標準付属品	ホースバンド40 mm用 1個 タケノコニップル40 mm × 40 mm 1個 ロープ 5m 1本			ホースバンド50 mm用 1個 タケノコニップル50 mm × 50 mm 1個 ロープ 5m 1本	

機種		PZ-540A	PZ-640A	PZ-550A	PZ-650A
ポンプ	接続口径	40 mm (Rp 1 1/2")		50 mm (Rp 2")	
	全揚程	9 m	10 m	9 m	10 m
	最大吐出量	210 L/min		305 L/min	290 L/min
モーター	電圧	AC 100 V			
	周波数	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
	出力	400 W			
	定格電流	6.8 A	7.2 A	7.5 A	
	消費電力	640 W	680 W	699 W	
	回転数	2600 rpm (50 Hz) / 3200 rpm (60 Hz)			
	電源コード	VCT 1.25 mm ² × 6 m			
	型式	コンデンサ誘導モーター			
製品重量	10.5 kg				
標準付属品	ホースバンド40 mm用 1個 タケノコニップル40 mm × 40 mm 1個 ロープ 5m 1本			ホースバンド50 mm用 1個 タケノコニップル50 mm × 50 mm 1個 ロープ 5m 1本	

はじめに

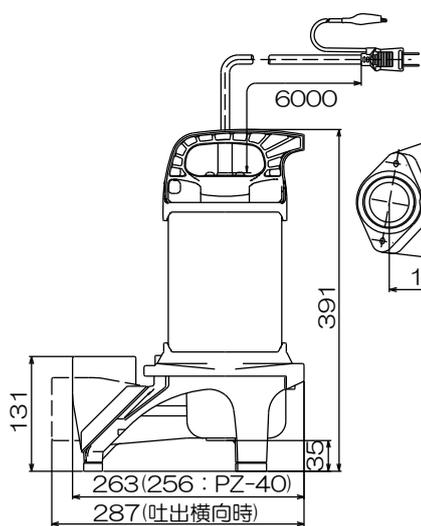
準備

使用方法

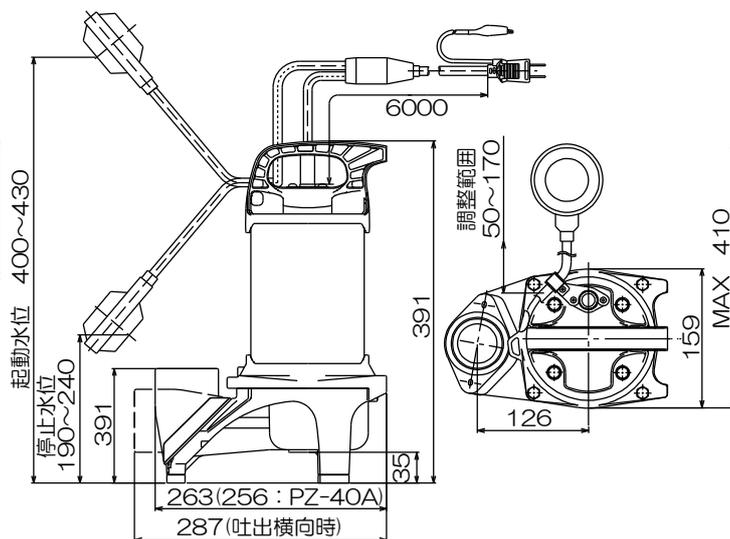
保守・点検

その他

外形寸法図



PZ-550・PZ-650
PZ-540・PZ-640



PZ-550A・PZ-650A
PZ-540A・PZ-640A
(フロートスイッチ付)

パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。

また、弊社公式Webサイトにてパーツ表、価格をご覧いただけます。

ご注文時のお願い

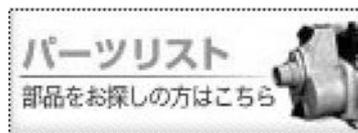
部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・価格

1) <https://www.koshin-ltd.co.jp> へアクセス



2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



保証書

持込修理

レシートまたは
販売証明書と共に
保管してください

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。商品と本書をお持ちいただき下記の「工進修理受付窓口」へ修理をご依頼ください。

保証期間経過後の修理などについても下記の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

機種 (いずれかに○)	汚物用水中ポンプ PZ-550 / PZ-650 / PZ-540 / PZ-640 PZ-550A / PZ-650A / PZ-540A / PZ-640A	*お買い上げ日		年	月	日
保証期間	お買い上げより1年間。ただし、1年以内でも 累計使用時間 3,000 時間を超えるものは除く	*〒				
お客様	*お名前	*購入店	住所			
	*ご住所		店名			
	〒 電話 ()		電話 ()			

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。

- 〈イ〉 使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
- 〈ロ〉 お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
- 〈ハ〉 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
- 〈ニ〉 家庭用以外（業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
- 〈ホ〉 本書のご提示がない場合。
- 〈ヘ〉 本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 〈ト〉 付属品、消耗品は有料修理となります。

〈チ〉 車両、船舶などに取付された場合に生ずる故障または損傷。

2. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。（一部商品を除く）
4. 本書は日本国内についてのみに有効です。
5. 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市神足上八ノ坪 12

お問い合わせ

お問い合わせの際は、

- 型式(下図参照)、
- お買い上げ年月日、
- 故障状況 など

をお知らせください。

※本体または梱包箱に貼付しています。
一部ラベルのない商品もございます。



株式会社 **工進**



〒617-8511
京都府長岡京市神足上八ノ坪12

<https://www.koshin-ltd.co.jp>

製品・パーツの販売についてのお問い合わせは

購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

製品の修理に関するお問い合わせは……工進修理受付窓口へ

電話 **0120-987-386** 平日: 9:00~17:00

会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

ダイレクト修理 ※北海道・沖縄を除く

- ①お電話またはメールで連絡
- ②修理品をお預け(宅配業者が取りに伺います)
- ③センターで修理
- ④ご自宅までお届け
- ⑤お支払いはクレジットカードまたは代引き

製品に関するお問い合わせは……お客様相談窓口へ

Q&A お客様サポートページ

Eメール pump@koshin-ltd.co.jp

電話 **0120-075-540** キョウトのコーシン

平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。